



### 地域貢献 こくふ福祉の村祭り

昨年9月21日(土)、第25回こくふ福祉の村祭りが開催され、27名の生徒がボランティアとして参加し、屋台での販売活動や会場清掃などに汗を流しました。

ボランティア活動には、毎年多くの生徒が参加しています。こうした活動が評価され、生徒会はこれまでに、高知県児童生徒表彰（ボランティア部門）を2度受賞しています。

### 体育大会

北陵中学校体育大会には、各学年一つずつ、三つの名物競技があります。1年生は大縄跳び、2年生はX人Y脚、3年生はムカデ競走です。応援・パネル・ダンスの各賞もあります。各学年の赤白各組が、心をつなげて争います。それぞれ「絆」がキーワードです。大縄跳びは、1年生の入学直後の宿泊研修でも、研修プログラムに組み込まれています。



### 絆

北陵祭は、合唱コンクールを中心に、文化部活動の発表や弁論などを行う、文化的学習の発表の場です。今年度、生徒全員で行う全校合唱の楽曲の一つに、東日本大震災からの復興支援ソング「花は咲く」がありました。震災以来、南国市の姉妹都市、宮城県岩沼市の玉浦中学校との交流を進めてきましたが、この合唱を契機に、さらに「絆」を深めていきたいと思っています。



### 北陵祭

誠実 英知 清純 健康

ほくりょう  
**北陵中学校**



北陵中学校（生徒数236名）は、久礼田、岡豊、白木谷、黒滝の四つの中学校の統合により、昭和41年10月1日に誕生した中学校で、50年近い歴史があります。この間、生徒増に伴い北校舎ができ、平成23年には、中学校では数少ない2階建ての体育館も新築されました。伝統を守りながらも、新しいことに挑戦できる学校を目指しています。

また、昭和53年から後援会が設立され、約40年にわたり、地域の皆さまから温かいご支援をいただいています。地域の学校としてますます発展させていきたいと思っています。

#### 《学校教育目標》

ともにより良く生きようとする心豊かでたくましい生徒の育成

#### 《目指す生徒像》

夢を追いかけ、可能性に挑戦し続ける生徒

#### 《目指す学校像》

（生徒・教職員・保護者の）

誰もが「自信」と「誇り」の持てる学校



北陵中学校では、より良い学校づくりのため、生徒会を中心に生徒が主体となって、いろいろな活動を行っています。本紙面では、「地域貢献」、「絆」をコンセプトに、いくつかの活動を紹介したいと思います。

### 地域貢献 四方竹の収穫

昨年10月27日、白木谷の四方竹の収穫体験学習が行われました。中学生に地域の産業や特産品についての認識を深めてもらい、地域の活性化につなげようとするのが主なねらいで、3年生16名が参加しました。四方竹の収穫後、作業場で「湯がく」「冷やす」「皮をはぐ」「カットする」といった一連の作業を見学し、実際に体験もしました。これを機会に、地域の産業にもっともっと関心を持ち、地域を活性化しようとする気持ちを高めていきたいと思っています。

